

日本招き猫大賞（2023）

【作品タイトル】

「猫の力」

【作者の言葉】

作品を作る時は、とにかく制作を自身が楽しむこと
そしてそれを見た人に伝わり共感してもらえることだと思う。

【作家名】

西岡 良和 / Nisioka Yosikazu （陶芸家）

【作品概要】

サイズ：幅 20cm x 奥行 35cm x 高さ 65cm

素材：木、その他

【プロフィール】

1957年 岡山県岡山市生まれ

1985年 陶彫を始める

出展・出品

2006年 広島県美術展 大賞

2014年 万古焼コンペ 大賞

【受賞理由】

圧倒的な表現力。

性質や種類の異なる複数の素材を用いたミクストメディアによる立体コラージュ作品。

背筋を伸ばして座る細身の猫、片手の先には「勝ち虫」蜻蛉が止まっている。招く手ばかりでなく、猫の身体にみなぎる力そのものが人間に福をもたらしてくれそうである。

よく見れば猫の身体は、流木をベースにモデルガン、歯車、蝶番、パンチングメタルなどさまざまなジャンク品を溶接してできている。陶器のパーツもあるようだ。物質文明へのアンチテーゼのようでもあり、さまざまなものを巧みに組み合わせることで、力強いエネルギーや原動力となり、新たな「福」を生み出し、招き入れるという前向きな宣言とも取れる。

全体が白く塗られ、瞳のあるべき部分は空洞なので、逆にどの場所からも猫の視線を感じるができる。

【作品写真】

